

みずほCustomer Desk Report 2016/04/04号(As of 2016/04/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	112.34
TKY 9:00AM	112.53	1.1378	128.03	0.9610	1.4366	0.7668
SYD-NY High	112.58	1.1438	128.15	0.9626	1.4372	0.7701
SYD-NY Low	111.58	1.1335	127.10	0.9553	1.4172	0.7599
NY 5:00 PM	111.72	1.1384	127.17	0.9590	1.4233	0.7669
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.7/10.16		Δ25RR	0.648	Yen Call Over	
NY DOW	17,792.75	107.66	債券市場			
NASDAQ	4,914.54	44.69	日本2年債	-0.2230	▲3.9bp	
S&P	2,072.78	13.04	日本10年債	-0.0590	▲3.0bp	
日経平均	16,164.16	▲594.51	米国2年債	0.7224	0.1bp	
TOPIX	1,301.40	▲45.80	米国5年債	1.2144	1.0bp	
シカゴ日経先物	16,210	▲610.00	米国10年債	1.7705	0.2bp	
ロンドンFT	6,146.05	▲28.85	独10年債	0.1340	▲1.9bp	
DAX	9,794.64	▲170.87	英10年債	1.4090	▲0.6bp	
ハンセン指数	20,498.92	▲277.78	豪10年債	2.5270	3.8bp	
上海総合	3,009.53	5.62	為替市況			
USDJPY 3M Vol	9.93	▲0.02%	USD/CNH	6.4714	0.0075	
USDJPY 6M Vol	9.76	▲0.05%	ドルインデックス	94.62	0.03	
EURJPY 3M Vol	10.43	0.02%	商品市況			
EURJPY 6M Vol	10.35	▲0.01%	CRB指数	168.027	▲2.49	
			NY金	1,223.500	▲12.10	
			WTI	36.790	▲1.55	
			Dubai Spot	35.78	0.92	

東京	オープン前に発表された日銀短観は、大企業・中小企業の製造業/非製造業DIが予想を下回る結果となるも、発表直後のドル円の反応は限定的で、112.53レベルでオープン。しかし、日経平均が前日比マイナス圏で寄り付き、その後も下げ幅を拡大し前日比▲400円近く下落すると、ドル円も円買いが優勢となり、一時112.22まで下落。その後発表された中国3月製造業PMI・非製造業PMIはいずれも節目となる50を上回るも、ドル円の反応は限られ、日経平均が軟調推移する動きにつれて、安値112.06をつける。午後に入っても日経平均の下落は止まらず、前日比▲600円超安を見せる中でドル円は上値重く推移し、米3月雇用統計結果を控え、結局112.21レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円112.21レベルでオープン。サウジアラビアのムハンマド副皇太子がイランを含めたOPEC加盟・非加盟の主要産油国すべてが増産凍結一致しなければサウジは凍結を見過と表明し原油は売られた。欧州株はエネルギー銘柄中心に下落し安全通貨とされる円が112.04まで若干買われた。3月の米雇用統計発表を待ちながら、ドル円も111.72レベルでNYへ渡った。ユーロドルはじり高。1.1385レベルでオープン。独3月製造業PMI改定値は50.7(予想50.4 前回50.4)。3月ユーロ圏製造業PMI改定値は51.5(予想51.4 前回 51.4)と双方小幅上昇してこともあり、前日の高値を上抜け1.1428まで強含んだ。その後は上値を探る中、1.1420レベルでNYへ渡った。(00531 444 179 ロンドン・トルジャー 西海)
ニューヨーク	NY時間のドル円は112.11レベルでオープン。朝方は米3月非農業部門雇用者数が21万5000人増と予想20万5000人増を上回り、平均時給も上昇したため112.45まで上昇する。しかし労働参加率が増加した一方、失業率、並びに不完全雇用率が上昇し、製造業の雇用が増えることが材料視され、111.83まで反落する。続いて発表された米3月ISM製造業景況指数が昨年の8月以来に景気の分岐点である50を上回ったことから112.46まで戻したものの、上値の重さが意識され、再び112.00を下抜けし、111.68まで反落する。午後も特段のニュースは見当たらない中、週末を控え調整からドル円が下落する展開に、ドル円も111.58まで下落し、111.72レベルでクロスした。一方、原油相場が下落する動きを受け、ユーロ買いが強まり、海外市場で下値を切り上げたユーロドルは、1.1420レベルでNYオープン。朝方は、海外市場の流れを引継ぎ、1.1438まで戻すものの、米雇用統計、ISM製造業景況指数結果を受け、1.1335まで反落する。しかしその後はドル売りが優勢となったことから再び、1.1403まで戻す。午後は1.1400手前付近での狭いレンジでの推移が続く。1.1384レベルでクロスした。(NY 00531 113 682 井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 佐藤・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月1日	8:50	日銀短観: 大企業製造業/製造業予測	1Q 6/3	8/7
	8:50	日銀短観: 大企業非製造業/非製造業予測	1Q 22/17	24/20
	8:50	日銀短観: 大企業全産業設備投資	1Q -0.9%	-0.7%
	10:00	製造業PMI/非製造業PMI	3月 50.2/53.8	49.4/-
	10:45	Caixin製造業PMI	3月 49.7	48.3
	21:30	非農業部門雇用者数変化	3月 215K	205K
	21:30	失業率	3月 5.0%	4.9%
	21:30	平均時給伸び率(前月比/前年比)	3月 0.3%/2.3%	0.2%/2.2%
	23:00	ISM製造業景況指数	3月 51.8	51.0
	23:00	ミシガン大学消費者信頼感指数・確報値	3月 91.0	90.5
4月2日	1:00	マスター・クリーブランド連銀総裁講演	-	-

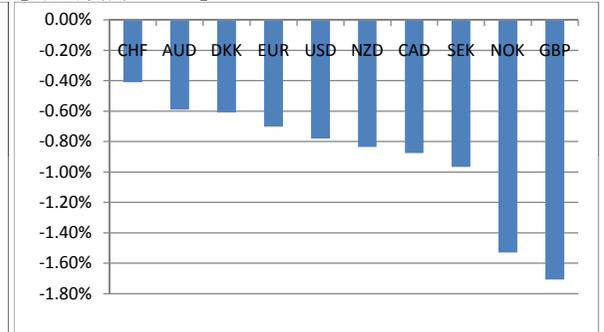
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月4日	10:30	豪 小売売上高	2月 0.4%	0.3%
	10:30	豪 建設許可件数(前月比/前年比)	2月 2.5%/-9.1%	-7.5%/-15.5%
	17:30	欧 プラートECB理事、講演	-	-
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	2月 -0.5%/-4.0%	-1.0%/-2.9%
	18:00	欧 失業率	2月 10.3%	10.3%
	22:30	米 ローゼンゲン・ボストン連銀総裁、講演	-	-
	23:00	米 製造業受注指数	2月 -1.8%	1.6%
	23:00	米 耐久財受注/除輸送用機器・確報値	2月 -2.8%/-1.0%	-2.8%/-1.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.30-112.30	1.1350-1.1450	126.80-128.30

【マーケット・インプレッション】

先週末の海外市場でのドル/円相場は、上値の重い展開。米3月雇用統計は、失業率は5.0%に悪化した一方、非農業部門雇用者数及び時間当たり賃金は市場予想を上回る等、全般的には良好な内容だった。しかし、ドル/円相場の上昇は一時的で、その後は徐々に売り優勢となると111.58円まで下落し、111.72円でクロス。本日のドル/円相場は上値の重い展開を予想する。良好な米雇用統計もドル/円の反転には繋がらず、FRBによる利上げペースの修正を背景としたドル高修正は継続しそうだ。ただ、新年度入りしたこともあり、本邦機関投資家による外国証券投資への期待もあり、下値も限定的か。